

## 生物資源環境科学府のアドミッションポリシー

21世紀の人类的課題である食料問題と環境問題を克服し、食料・生活資材の安定供給、生物生存環境の保全、人類の健康と福祉に貢献するため、生命科学、環境科学、社会科学などの学問分野に強い関心と専門基礎知識を有し、国内外を問わず、将来生物資源環境科学諸分野で活躍を目指す意欲的な学生を求めている。

### 1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び平成29年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条の第4項の規定により学士の学位を授与された者（学位授与機構から学士の学位を授与された者）及び平成29年3月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成29年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該学校の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成29年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成29年3月までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号参照）
- (8) 本学府において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者及び平成29年4月1日までに22歳に達する者<sup>注1、注2</sup>
- (9) 本学府において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者<sup>注2</sup>

注1) 上記(8)による出願者は、「短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生、その他の教育施設の修了者で22歳に達した者及び平成29年4月1日までに22歳に達する者」である。

注2) 出願資格(8)、(9)による出願者は、出願に先立ち5.に記載する出願資格の事前審査を受けなければならない。

### 2. 募集専攻及び募集人員

募集専攻	募集人員
資源生物科学専攻 <sup>注1</sup>	若干名
環境農学専攻 <sup>注2</sup>	10名程度
農業資源経済学専攻	若干名
生命機能科学専攻 <sup>注3</sup>	20名程度
合計	30名程度

注1 資源生物科学専攻の次の研究分野は、募集を行わない。

高次動物生産システム学

注2 環境農学専攻の次の研究分野は、募集を行わない。

水環境学、土環境学、気象環境学、生産環境情報学、農業生産システム設計学、農産食料流通工学

注3 生命機能科学専攻の次の研究分野は、募集を行わない。

細胞制御工学、微生物工学、栄養化学、食糧化学、食品分析学、食品製造工学

※各専攻の研究分野等については、5～10頁を参照のこと。

### 3. 願書受付期間

平成 28 年 12 月 13 日（火）から平成 28 年 12 月 16 日（金）17 時まで（郵送の場合も同日の同時刻までに必着のこと。）

### 4. 出願手続

#### (1) 提出書類及び検定料

提出書類等	注意事項
入学願書 受験票 照合票	本学所定の用紙を用い、黒インク又はボールペンで記入すること。 出願3ヶ月以内に撮影した上半身、脱帽の写真(3.5cm×2.5cm)を所定の位置に貼ること。
卒業証明書等	出身大学の卒業証明書又は卒業見込証明書(本学部の卒業(見込み)者及び出願資格(8)、(9)による出願者は不要)。 出願資格の(2)により出願する者は、卒業証明書又は卒業見込証明書に代えて、次の書類を提出すること。 ①学位授与機構から学位を授与された者 ・学位授与機構が発行する学士の学位証明書 ②学位授与機構から学位を授与される見込の者 ・短期大学の専攻科又は高等専門学校専攻科の修了証明書又は修了見込証明書 ・出願者が在籍する短期大学長又は高等専門学校長の作成した、学士の学位の授与を申請する予定である旨の証明書
成績証明書	出身大学(学部)長が発行し、厳封したもの(本学部出身者及び出願資格(8)、(9)による出願者は不要)。
TOEFLテストスコアの コピー (P6注3を参照)	( <b>環境農学専攻:森林環境科学、サステイナブル資源科学教育コースのみ</b> ) TOEFLテスト受験者本人に届く「Examinee Score Record」のコピー(鮮明なもの)。
検定料	30,000円(銀行振込とし、23頁以降をよく読んで振込むこと。)
受験票発送用封筒	長形3号(23.5cm×12cm)の封筒に、出願する者の郵便番号、住所、氏名を明記し、362円分の切手(速達料金を含む。)を貼ったもの。 (本学部に在学中の者は学内便の送付先(分野・研究室名・氏名)を記入すること。 <b>(切手不要)</b> )
住所票(シール)	合格通知送付時(平成29年2月発送)に、確実に郵便を受領できる住所、氏名を明記すること。 (本学部に在学中の者は学内便の送付先(分野名・研究室名・氏名)を記入すること。)

#### (2) 出願書類提出先

九州大学農学部学生係  
〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1  
電話 (092) 642-2814、2815

#### (3) 出願方法

(1) の提出書類及び入学検定料原符を一括し、所定の期日までに提出先へ持参又は郵送すること。郵送の場合は、必ず書留速達とし、封筒の表に「**修士2次願書在中**」と朱書きすること。

#### (4) 受験票について

受験票が試験日の1週間前になっても郵送(本学部に在学中の者は、学内便)で届かない場合には、**4.**  
(2) 出願書類提出先へ連絡すること。

### 5. 出願資格の事前審査

1. の出願資格の(8)、(9)による出願者は、出願に先立ち出願資格の事前審査を行うので、次の書類を  
4. (2) の出願書類提出先へ提出すること。

なお、郵送の場合は、必ず書留郵便として封筒表面に「**修士2次事前審査**」と朱書きすること。

(1) 提出書類

提出書類等	注意事項
出願資格認定申請書	本学所定の用紙に必要事項をみれなく記入すること。
最終学校の卒業証明書	最終出身学校長が発行したもの。
最終学校の成績証明書	最終出身学校長が発行し、厳封したもの。
学修歴、活動歴、実務経験等	現在までの学修歴、活動歴、実務経験等(以下「学修歴等」という)について、具体的に自由形式で記述したものを提出すること。 なお、学修歴等については下記①～④のような事項が考えられる。 また、学修歴等に関する著書、論文、報告書等があれば添付すること。 ① 短期大学、高等専門学校等における学修歴 ② 研究機関、教育機関、企業等における実務経験等 ③ 海外における国際的団体等での活動経験 ④ 英語を含む語学力
返信用封筒 (資格審査結果送付用)	長形3号(23.5cm×12cm)の封筒に、事前審査を受ける者の郵便番号、住所、氏名を明記し、362円分の切手(速達料金を含む)を貼ったもの。

(2) 提出期間

要項発表の日から平成 28 年 11 月 15 日 (火) 17 時までの期間

(3) 審査結果

審査の結果については、平成 28 年 12 月 2 日 (金) までに申請者あてに通知するので、資格があると認定された者は、4. の出願手続を行うこと。

6. 第 2 志望について

生物資源環境科学府の研究分野を第 2 志望として出願することができる。

ただし、募集研究分野については、2. **募集専攻及び募集人員** (P. 1) を参考にすること。

(1) 第 2 志望の出願を希望する場合は、願書・受験票・照合票の所定欄に必要事項を記入すること。

(2) 他教育コースを第 2 志望で出願する場合には、第 1 志望の口頭試問終了後に第 2 志望の口頭試問をうけること。

注) なお、第 2 志望出願に当たっては、第 1 志望、第 2 志望それぞれの指導予定教員と必ず十分に相談すること。

7. 試験日及び場所

月日(曜)	時間	試験科目	場所	注 口頭試問(第 2 志望)は他教育コースの研究分野を第 2 志望としている者のみ対象。
1月18日(水)	10:00～12:00	外国語	九州大学農学部	
	13:30～15:30	基礎科目又は小論文		
1月19日(木)	10:00～12:00	専門科目		
	13:00～	口頭試問(第1志望)		
	15:00(予定)～	口頭試問(第2志望)注		

※ 各科目の集合時間

「外国語」・・・9：50

「基礎科目又は小論文」・・・13：10

「専門科目」・・・9：50

「口頭試問」・・・各教育コース等の指示による。

※ 試験室及び試験時間割は、1月17日(火)農学部公用掲示板(1号館横)に掲示する。

※ 「基礎科目」については、受験科目をあらかじめ届出なければなりません。届出は入学願書、受験票及び照合票の該当欄に記入することにより行ってください。出願後における受験科目の変更は認めません。

なお、資源生物学専攻及び農業資源経済学専攻については、科目が指定されていますので、受験科目の記入の際には、指定された科目を記入してください。

8. 選抜方法

筆記試験、口頭試問、成績証明書を総合して行う。

各専攻の筆記試験科目等については、5～12 頁を参照のこと。

## 9. 合格者発表

平成 29 年 2 月 3 日（金）16 時に農学部公用掲示板（1 号館横）に掲示するとともに、合格者には本人あて通知する。（本学部に在学中の者へは、学内便にて通知する。）

## 10. 入学料及び授業料

入学料：282,000 円（予定額）

授業料：〔前期分〕267,900 円（予定額）〔年額〕535,800 円（予定額）

※ 入学料・授業料については、入学時まで改定が行われた場合には、その改定額を適用する。また、授業料について在学中に改定が行われた場合には、改定時から新授業料を適用する。

## 11. 願書等請求

募集要項及び入学願書等の請求は、4. (2) の出願書類提出先へ行うこと。

なお、郵送で請求するときは、返信先住所、氏名等を明記して郵便切手 250 円分を貼った角形 2 号封筒縦 33.2 cm×横 24.0 cm) を同封の上、「修士 2 次願書請求」と表示すること。

## 12. 注意事項

(1) 願書を提出する際は、受験を希望する分野の指導教員に必ず事前に連絡を取ることを。

(2) 願書受理後は記載事項の変更・検定料の払い戻しはできない。ただし、検定料納付後、出願しなかった者及び受理できなかった者については返還するので、4. (2) の出願書類提出先へ連絡すること。

(3) 受験票未受領者又は紛失した者は、試験開始前までに農学部学生係（農学部 1 号館）で受領すること。

(4) その他不明の点があれば、4. (2) の出願書類提出先へ問い合わせること。

## 13. 個人情報の取り扱いについて

入学者選抜の過程で収集した個人情報は入学者選抜の実施、入学手続き、入学後の奨学・厚生補導並びに修学指導に関する業務を行うために利用し、上記の目的以外には利用しません。

## 14. 受験上の注意

(1) 試験当日は、各試験科目の集合時間を厳守ください。試験室には、集合時間の 10 分前から入室できません。

(2) 携帯電話等は、試験室に入る前にアラームの設定を解除し、必ず電源を切っておいてください。

(3) 遅刻による試験室への入室限度時刻は試験開始後 30 分です。なお、交通機関の事故又はやむを得ぬ事由により、試験開始後 30 分以上遅刻した者は、監督者に申し出てください。

(4) 試験終了までは、退室できません。

## 15. 入学志願に当たっての留意事項

本学府では、入学後に専攻・研究分野を変更することは原則として許可されない。従って、志望専攻・研究分野の決定に当たっては、研究内容等について十分に検討した上で出願すること。

## 16. 成績開示について

開示期間等詳細については、本学府 H P (<http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/>) を参照してください。

## 17. 障害等のある入学志願者について

本学府では、障害等のある者に対して、受験上及び修学上必要な配慮を行う場合があり、そのための相談を受け付けています。

受験上の配慮については、内容によって対応に時間を要することがありますので、平成 28 年 12 月 2 日（金）までに下記連絡先まで相談してください。

### 連絡先

九州大学農学部学生係

〒812-8581 福岡市東区箱崎 6 丁目 10 番 1 号

Tel (092) 642-2814

Fax (092) 642-2817

E-mail [noggakus@jimu.kyushu-u.ac.jp](mailto:noggakus@jimu.kyushu-u.ac.jp)

## 18. キャンパスの移転について

生物資源環境科学府は、平成 30 年 10 月に伊都地 区への移転を予定しております。

## 資源生物学専攻

本専攻では、人類に課せられた最重要課題の一つである食料問題の克服を基本理念として、陸圏、水圏を包括した食料資源生物の持続的安定供給、革新的生産技術、保護管理および資源生物生存環境の保全を目指し、分子・細胞から生態系にまで至る幅広い専門知識と先端的技術、深い洞察力および豊かな創造性を併せ持つ人材を体系的、組織的に育成することを教育目標とする。生命の営みや生物生産の仕組みに関心を持ち、将来、食料問題の解決や、生物生産を支える豊かな環境の創造に挑戦しようとする意欲をもった人物を期待する。

### 筆記試験科目

教育コース	筆記試験科目		
	外国語	基礎科目 <sup>注1</sup>	専門科目
農業生物資源学	英語 <sup>注2</sup>	生物学	志望研究分野の問題を選択
動物・海洋生物資源学		生物学	志望研究分野の問題を選択

注1 基礎科目の出題範囲については、付表(11～12頁)を参照。

注2 TOEFL-ITP(LEVEL1)を大学院入学試験場で実施します。TOEFL-ITPとは、団体向けTOEFLプログラムです。TOEFL-ITPは、Listening Comprehension、Structure and Written Expression及びReading Comprehensionから成ります。なお、入学試験では、Listening Comprehensionは合否判定には採用しません。

※ 以下の研究分野は募集を行わない。

高次動物生産システム学

### 研究分野及び指導教員

研究内容等の詳細についてはホームページを参照すること。

教育コース	研究分野	教授	准教授・講師
農業生物資源学	植物育種学	吉村 淳	安井 秀
	作物学	井上 眞理 <sup>注1</sup>	石橋 勇志
	植物生産生理学	上野 修	斎藤 和幸
	昆虫ゲノム科学	日下部 宜宏	
	動物学	飯田 弘	
	昆虫学	廣渡 俊哉	紙谷 聡志
	植物病理学	古屋 成人	
	天敵微生物学		青木 智佐
	天敵昆虫学		上野 高敏 津田 みどり
	植物光生理学		松下 智直
動物・海洋生物資源学	高次動物生産システム学	(兼) 田畑 正志	
	家畜生体機構学	田畑 正志	西村 正太郎
	動物繁殖生理学		山内 伸彦
	畜産化学		辰巳 隆一
	代謝・行動制御学	古瀬 充宏	下條 雅敬 <sup>注1</sup> 安尾 しのぶ
	家畜生産生態学		後藤 貴文
	海洋生物学	松山 倫也	太田 耕平
	水産増殖学		望岡 典隆
	アクアフィールド科学	吉国 通庸	及川 信 <sup>注1</sup>
水産生物環境学	大嶋 雄治	島崎 洋平	

※ 注1 平成29年3月定年退職予定者

## 環境農学専攻

本専攻では、生物生産環境、生物生存環境の保全・修復・創生と資源の生産・加工・利用を図り、環境と資源利用が調和した高度で持続可能な社会の構築に寄与する人材を体系的、組織的に育成することを教育目標とする。先端的知識、包括的思考力、高度な課題探求・解決能力の修得と学際的かつ国際的に活躍するために必須となる英語、化学、生物学、物理学、数学、経済学などの基礎学力、および研究遂行のための熱意・能力・資質をもった人物を期待する。

### 筆記試験科目

教育コース	筆記試験科目		
	外国語	基礎科目 <sup>注1</sup> 又は小論文	専門科目
森林環境科学	英語 <sup>注2、注3</sup>	小論文	実施しない
生産環境科学	英語 <sup>注2</sup>	数学、物理学、生物学、化学から1科目を選択	志望研究分野の問題を選択 <sup>注4</sup>
農業環境科学		化学、生物学、物理学から1科目を選択	志望研究分野の問題を選択
サステナブル資源科学	英語 <sup>注2、注3</sup>	小論文	実施しない

注1 基礎科目の出題範囲については、付表(11～12頁)を参照。

注2 TOEFL-ITP(LEVEL1)を大学院入学試験場で実施します。TOEFL-ITPとは、団体向けTOEFLプログラムです。TOEFL-ITPは、Listening Comprehension、Structure and Written Expression及びReading Comprehensionから成ります。なお、入学試験では、Listening Comprehensionは合否判定には採用しません。

注3 次のいずれかのTOEFLテストスコア(取得後2年以内のもの)を提出した者は、外国語(英語)試験を免除し、得点を満点として扱います。

① TOEFL-iBT 79点以上 ② TOEFL-PBT 550点以上

なお、TOEFLテストスコアの提出方法は次の通りとします。

(1) TOEFLテスト受験者本人に届くExaminee Score Recordのコピーを仮スコアとし、入学願書と共に提出してください。

(2) 後日、合格者には仮提出したTOEFLテストスコアのOfficial Score Reportの提出を求めます。合格通知に記された期日までに、Official Score Reportが届くように米国ETSへの手続きを行ってください。その際は次のDI(Institute Code)コードとDepartmentコードを用いてください。

DIコード: 0411 Departmentコード: 31

(3) Examinee Score Recordのコピーはあくまでも仮のものとし、ETSから送付されたOfficial Score Reportを正式スコアとします。両者を照合し、改ざん等が認められた場合には、入学許可後でも合格を取り消します。

注4 生産環境科学教育コースの専門科目の出題範囲は下記とします。

研究分野	専門科目の出題範囲
灌漑利水学	灌漑工学、利水工学、土壌物理学
土壌学	土壌学

※ 生産環境科学教育コースのホームページ (<http://www2.bpes.kyushu-u.ac.jp/~www-bpes/>) も参照して下さい。

※ 以下の研究分野は募集を行わない。

水環境学、土環境学、気象環境学、生産環境情報学、農業生産システム設計学、農産食料流通工学

研究分野及び指導教員

研究内容等の詳細についてはホームページを参照すること。

教育コース	研究分野	教授	准教授・講師
森林環境科学	植物代謝制御学		渡辺 敦史
	造 林 学		玉泉 幸一郎
	森林生産制御学	大賀 祥治	榎木 勉 古賀 信也 内海 泰弘
	森 林 計 画 学	吉田 茂二郎	溝上 展也
	森 林 政 策 学	佐藤 宣子	
	森 林 保 全 学	久保田 哲也	
	流域環境制御学	大槻 恭一	智和 正明 笠原 玉青 菱 拓雄
生産環境科学	灌 漑 利 水 学	凌 祥之	福田 哲郎 <sup>注2</sup>
	水 環 境 学	平松 和昭	原田 昌佳
	土 環 境 学		東 孝寛
	土 壤 学	和田 信一郎 <sup>注2</sup> (兼)北野 雅治	
	気 象 環 境 学	北野 雅治	安武 大輔
	生産環境情報学		(兼)平井 康丸
	農業生産システム設計学	井上 英二	岡安 崇史 平井 康丸
	農産食料流通工学	内野 敏剛	田中 史彦
農業環境科学	園 芸 学		若菜 章
	農業生産生態学	望月 俊宏	尾崎 行生
	生物環境調節学	吉 田 敏	江口 壽彦
	熱帯作物・環境学	緒方 一夫	宮島 郁夫
	生物保護管理学	高須 啓志	
	持続型農業生産学 <sup>注1</sup>	安達 克樹	
サステイナブル資源科学	木質資源理学	松村 順司	
	木質材料工学	中尾 哲也	藤本 登留
	森 林 化 学	堤 祐 司	小名 俊博
	生物資源化学	北岡 卓也	一瀬 博文
	森林圏環境資源科学	久米 篤	清水 邦義

※ 注1 独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構九州沖縄農業研究センターとの連携講座

※ 注2 平成29年3月定年退職予定者

## 農業資源経済学専攻

本専攻では、社会科学総合の観点から、国際フードシステムの社会経済問題に関する高度な研究能力と国際性を備えた指導力を持つ人材を体系的・組織的に育成することを教育目標とする。そのために必要となる英語、経済学及び各研究分野の基礎知識を広範に修得し、熱意を持って研究を推進できる能力を有する人物を期待する。

### 筆記試験科目

教育コース	筆記試験科目		
	外国語	基礎科目 <sup>注1</sup>	専門科目
農業資源経済学	英語 <sup>注2</sup>	経済学	研究分野別に1問ずつ出題した5問から志望研究分野を含む3問を選択

注1 基礎科目の出題範囲については、付表(11～12頁)を参照。

注2 TOEFL-ITP(LEVEL1)を大学院入学試験場で実施します。TOEFL-ITPとは、団体向け TOEFL プログラムです。TOEFL-ITP は、Listening Comprehension、Structure and Written Expression 及び Reading Comprehension から成ります。なお、入学試験では、Listening Comprehension は合否判定には採用しません。

### 研究分野及び指導教員

研究内容等の詳細についてはホームページを参照すること。

教育コース	研究分野	教授	准教授・講師
農業資源経済学	食料農業政策学	伊東 正一	磯田 宏
	農業経営学	南石 晃明	
	食料経済分析学	前田 幸嗣	
	食料流通学	福田 晋	森高 正博
	環境生命経済学	矢部 光保	高橋 義文



## 生命機能科学専攻

複雑な生命現象の発現と調節に係る機能素子の作用機構の解明とデザイン、細胞内ネットワークシステムの構成要素(分子)間の相互作用の解明、有用微生物やバイオマスの機能を利用した持続型・低環境負荷型有用物質生産技術の確立、食の機能性・安全性・製造技術など総合科学としての食科学に関する広範な専門知識と総合力、深い洞察力および豊かな創造力を養うことを教育目標とする。生物機能分子とそのシステム、生物機能の工学的応用、および食科学に強い関心を持ち、それらの分野を取り巻く課題に果敢に挑戦しようとする強い意欲をもった人物を期待する。

### 筆記試験科目

教育コース	筆記試験科目		
	外国語	基礎科目 <sup>注1</sup>	専門科目
生物機能分子化学	英語 <sup>注2</sup>	生物学、化学、物理学の中から1科目を選択	志望する教育コースが出題した問題を選択 <sup>注3</sup>
システム生物学			
分子微生物学・バイオマス資源化学 <sup>注3</sup>			
食料化学工学			

注1 基礎科目の出題範囲については、付表(11～12頁)を参照。

注2 TOEFL-ITP(LEVEL1)を大学院入学試験場で実施します。TOEFL-ITPとは、団体向けTOEFLプログラムです。TOEFL-ITPは、Listening Comprehension、Structure and Written Expression 及び Reading Comprehension から成ります。なお、入学試験では、Listening Comprehension は合否判定には採用しません。

注3 分子微生物学・バイオマス資源化学教育コースの専門科目については、分子微生物学あるいはバイオマス資源化学に関する小論文を出題します。

※ 以下の研究分野は募集を行わない。

細胞制御工学、微生物工学、栄養化学、食糧化学、食品分析学、食品製造工学

研究分野及び指導教員

研究内容等の詳細についてはホームページを参照すること。

教育コース	研究分野	教授	准教授・講師
生物機能分子化学	生物化学	木村 誠 <sup>注1</sup> (兼)角田 佳充	
	水族生化学	中尾 実樹	柚本 智軌
	海洋資源化学	伊東 信	沖野 望
	生物物理化学	角田 佳充	西本 悦子
	植物栄養学	松岡 健	山川 武夫 丸山 明子
	遺伝子制御学		田代 康介
	蛋白質化学工学	石野 良純	
	農業薬剤化学		平島 明法
	植物分子機能学		中村 崇裕
システム生物学	合成生物学	岡本 正宏	花井 泰三
	細胞制御工学		片倉 喜範
	家蚕遺伝子資源学		伴野 豊
	植物遺伝子資源学	熊丸 敏博	久保 貴彦
	代謝システムデザイン	割石 博之	
	バイオプロセスデザイン	白石 文秀	
	生物機能デザイン	古屋 茂樹	
分子微生物学・ バイオマス資源化学	土壤環境微生物学	酒井 謙二	
	発酵化学	竹川 薫	
	微生物工学	園元 謙二	中山 二郎
	高分子材料学	近藤 哲男	巽 大輔
	微生物遺伝子資源学	土居 克実	
	バイオマテリアルデザイン	(兼)近藤 哲男	
食料化学工学	栄養化学	佐藤 匡央	
	食糧化学	立花 宏文	
	食品分析学	松井 利郎	
	食品製造工学	下田 満哉	井倉 則之
	食品衛生化学	宮本 敬久	本城 賢一

※ 注1 平成29年3月定年退職予定者

付表

基礎科目の出題範囲

各基礎科目の出題範囲は以下のとおりである。

科目名	出題範囲
生物学	<p>生物学の基礎的問題(大学低年次レベル)を出題する。出題分野は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 細胞</li> <li>② 分子生物学・生化学</li> <li>③ 遺伝学</li> <li>④ 生殖, 発生</li> <li>⑤ 動植物の構造と機能</li> <li>⑥ 生物の環境, 集団, 生態系</li> <li>⑦ 分類, 進化</li> <li>⑧ その他</li> </ul> <p>※上記分野から出題される6問から4問を選択解答</p> <p>上記分野の学習用参考図書の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 星元紀ほか著「生物(生命科学のための基礎シリーズ)」(実教出版)</li> <li>2. D. Voet ほか著「ヴォート基礎生化学」(東京化学同人) 第2章(生体分子)のみ</li> <li>3. B. Alberts ほか著「エッセンシャル細胞生物学」(南江堂)</li> </ul>
化学	<p>無機化学、有機化学および物理化学の基礎的問題(大学低年次レベル)を出題する。出題分野は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 原子の構造</li> <li>② 化学結合</li> <li>③ 酸と塩基</li> <li>④ 配位化学</li> <li>⑤ 酸化と還元</li> <li>⑥ 有機化合物の構造と結合</li> <li>⑦ 有機化合物の性質と反応</li> <li>⑧ 生体分子の化学</li> <li>⑨ 化学平衡</li> <li>⑩ 反応速度</li> <li>⑪ その他</li> </ul> <p>※ 上記分野から出題される6問から4問を選択解答</p> <p>上記分野の学習用参考図書の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 一國雅巳著「基礎無機化学」(裳華房)</li> <li>2. 山口良平、田村類、山本行男著「ベーシック有機化学」(化学同人)</li> <li>3. バーロー著、野田春彦訳「バーロー生命科学のための物理化学」(東京化学同人)</li> </ul>

科目名	出題範囲
物理学	<p>物理学の基礎的問題(大学低年次レベル)を出題する。出題分野は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 力のつり合い</li> <li>② 質点の運動</li> <li>③ 保存則</li> <li>④ 質点系の運動</li> <li>⑤ 剛体の運動</li> <li>⑥ 温度と熱</li> <li>⑦ 波と光</li> <li>⑧ 電磁気</li> <li>⑨ 原子の世界</li> </ul> <p>※ 上記分野から出題される6問から4問を選択解答</p> <p>上記分野の学習用参考図書の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 基礎物理教育研究会編「やさしく学べる基礎物理」(森北出版)</li> <li>2. 甲木伸一著「初等力学」(裳華房)</li> <li>3. 小出昭一郎著「波・光・熱」(裳華房)</li> </ul>
数 学	<p>出題分野は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 級数, 線形代数(ベクトル・行列・行列式), 微分・積分(3問)</li> <li>② 常微分方程式, 偏微分, 偏微分方程式, フーリエ解析(2問)</li> <li>③ 確率統計学(1問)</li> </ul> <p>※上記分野から出題される6問から4問を選択解答</p>
経済学	<p>出題分野は, 以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① ミクロ経済学 上記分野の学習用参考図書の例: 西村和雄著「ミクロ経済学入門 第2版」(岩波書店)</li> <li>② 政治経済学 上記分野の学習用参考図書の例: 北村洋基著「改訂新版 現代社会経済学」(桜井書店)</li> </ul> <p>※上記分野から必須問題1問と選択問題4問を出題</p> <p>必須問題は必ず解答、選択問題は4問から2問を選択解答</p>